

食品デザイン科では、「あい circle」、「北海道教育大学札幌校」、「特別支援学校ほっこりふれあいプロジェクト」、「近隣施設」等で製菓、製パン製品の紹介、販売を行ってきました。

これは、学校の重点「地域と共に歩む教育活動」として取り組んできたものです。

これらの学習を通して、たくさんの成果を得ることができました。

生徒自身は、定期的な製品の紹介、販売を通して、成就感を味わい、製品作りへの意欲、責任感などの自覚を高めることとなりました。また、製品作りや、協働して取り組む姿勢、販売にかかる接客、当日に向けての準備などを学び、そのスキルや態度を身につけることができました。合わせて、地域の方々には、本校の生徒の学びの状況や、教育活動を理解する機会になったと考えます。

(文責：三浦)

あい circle での販売の様子

あい circle は共生社会の実現を目指して札幌市北部の関係者が共同して開催するイベントです。本校をはじめ、近隣の特別支援学校や福祉事業所、大学などが一体となって進めています。

今年度は、7月に教育大学を会場にし、10月には本校を会場に開催しました。

食品デザイン科では、7月を3年生、10月は2年生が担当し、「パンタベールショップ」を開店させました。それぞれ、午前中はお菓子やパンの製造を行い、お昼からの開店でした。開店前から多くのお客様に並んでいただきました。この光景を目の当たりにした生徒は、喜びや緊張、販売への意気込みを高めたところでした。ご購入いただきました皆様、ありがとうございます。

なお、3月は1年生が中学生向けに体験や説明等を担当し、本校を会場に開催します。詳細はHPをご覧ください。



R7. 7. 12、第1回あい circle、北海道教育大学札幌校を会場に開催しました。ダイヤモンドクッキー、アーモンドケーキ、ラムフルーツナッツチーズ、塩パンを販売しました。行列や、あっという間の完売に、朝早くからの製造の疲れも心地よく感じられたことと思います。



R7. 10. 18、第2回あい circle、本校を会場に開催しました。悪天のために校内での開催となりました。開店前から、廊下に長蛇の列ができていました。商品案内グループ、会計グループに分かれ、笑顔で、丁寧にお客様を迎えました。

北海道教育大学 札幌校での販売の様子

R6年度に再開した教育大学での販売です。
今年度は5月(2年生)、6月(3年生)、7月(1年生)、9月(3年生)、10月(1年生)、11月(3年生)と学年ごとに定期的に販売してきました。(R8.2 2年生予定)
大学生に喜ばれる菓子、パンの種類を考え、生産してきました。長い行列にドキドキ感を感じつつ、笑顔での商品説明や案内、丁寧な会計を行いました。完売時には、緊張や販売の疲れとともに、満ち足りた充実感も感じられたことと思います。



商品を案内する生徒(2年生 5月)



行列を作るお客様と会計(3年生 6月)



準備が整った店内と会計(1年生 7月)



特別支援学校 ほっこりふれあいプロジェクトでの販売の様子

「ほっこりふれあいプロジェクト」は、北海道教育委員会が特別支援学校の教育活動の発表の場として主催したものです。今年度は、7月、9月、11月の3回、道庁本庁舎で開催されました。
「食品デザイン科」は、このプロジェクトに1、2、3年生がそれぞれ出店してきました。道庁での販売は、特別感がありましたが、しっかりと取り組み「笑顔とその場にあった声の大きさを忘れずに接客できました」と振り返ることができました。



(2年生 7月)



(1年生 9月)



(3年生 11月)

近隣施設等での販売の様子

「介護老人福祉施設 白ゆりあいの里」(7月実施、R8.1、2月予定)、「有料老人ホーム らくら拓北壱番館」(7月、11月実施)、「札幌市あいの里ひがし児童会館」(9月)等で製菓、製パン製品の紹介、販売等を行ってきました。「白ゆりあいの里」では、利用者様の嗜好等に合わせ、チーズケーキやプリンをお届けしました。また、「らくら拓北」では焼き菓子の他、あんパン、レーズンパン等の菓子パンをお届けしました。ご高齢のお客様への案内、商品説明等の話しかけや、買い物のサポートに気がつけました。



高齢者施設での販売



児童会館での商品紹介